

## 百足Lの、ルパースピーチを聞いて

久保 博

百足億一Lとは、白門ライオンズクラブの入会が同じ2007年12月でした。当初、百足と言う御名前が腑めなくて、‘ヒヤクマン’とか‘ヒヤククさん’とか、‘ヒヤクさん’とか、言っていました。が、むかでさんと腑むとはびっくりしました。(私の、敬養の無さが露呈しまして、普通百足は、むかでと腑むのは当たり前だそうです) 百足Lには、失礼な事をしたと思っております。百足Lは、仙台市近郊の岩沼市にお住まいで、遠距離の中、例会の出席率は高く、本当に白門ライオンズクラブを愛している人なんだなと思っておりました。

彼の住む、岩沼市と言うのは、仙台から南に20km、仙台空港の、近くに位置する宮城県では陸空の交通の要の場所です。又、歴史的にも江戸時代は、宿場町としてにぎわい、徳川幕府と、伊達藩との権勢があった、‘伊達騒動’は、有名な史実として残っております。先の東日本大震災では、仙台空港始め、近郊市町村では大変な被災を受け現在も復興のさなかにあります。

今日の、百足Lのルパースピーチを聞いて、まず驚かされたのは、彼の多種多様な、趣味の多さと、政治家としての経歴と、史学研究者としての博学ぶりでした。彼の高校時代は、大変な硬派で、あの体格の彼にケンカで、勝つ学生はいなかったと、聞いています。中大に入り、日本憲法部に入ります。この時、練習と、しごきで、腕を骨折して以来今日まで、好きなゴルフも出来なくなったそうです。彼の人生は、このあたりから政治の世界に傾注していきます。自民党の学生部に入部して選挙のアルバイトなどをしながら、地元選出の古市広雄衆議院議員にかわいがられ、国際政治研究会を作り、その委員長になったり、評議学会に入り弁論に磨きをかけて行きます。

卒業後は、自民党選対委員会に入り活動する事になります。ちなみに、当時の、選対委員長は、今は亡き、佐藤栄作前総理であったり、事務局長には田中角栄前総理など、そうそうたる自民党の重鎮が在籍していたそうです。

これらの経歴を踏んで、37歳で宮城県議会に出馬して、見事初当選を遂げます。以来、3期県議を務め51歳で衆議院選挙に立候補するも次点で落選と言う事になるのです。

再度、57歳で県議に復活し62歳で政界を引退。政治活動に終止符を打つ事になります。

百足Lのスピーチを聞いていて、県議から中央政界に出る時のチャレンジ精神や落選しても、再度県議に立候補して当選するしぶとさに、ほとんど感心するの

ですが、もう一面の彼のすばらしさは、その多種多様な趣味の世界にあります。彼の、多種ある趣味の世界で注目すべきは、美術刀剣、小田流煎茶、俳句と言った古風な趣味で、私には解りませんが、奥の深い知識と、経験が、必要とされる世界の様な気がします。さすがに史学研究家の趣味だけあるなと思いました。

その他、旅行、クレー射撃、モダンダンス、麻雀などなど、多種にわたります。現在の百足氏は、趣味の旅行を中心に悠々自適の生活ですが、今日のスピーチを聞いていて、どこにそんなエネルギーがあるのかと思わせる彼の朴訥な語り口の裏にある、著かりし頃の強烈なチャレンジ精神と、貪欲な知識欲と、郷土愛に、ほとほと感心した次第です。

今後は、是非とも、白門ライクの中核として頑張ってもらいたいと思いました。

以上